

# 2年生学年だよ!

令和元(2019)年5月30日  
第7号  
吹田市立第二中学校第二学年

明日で5月が終わります。2年生になって2か月が経ちました。

みんなはいつも通り明るく素直で、3階のフロアにはたくさんの笑顔があふれています。この雰囲気はこれからも大切にしていきたいね。

ただ一方で、少しフワフワとその場の軽いノリに流されて、自分にブレーキをかけられず、その結果、限度を超えた問題行動となることがチラホラ見られています。

これは個人の問題として片づけていいのかな?

先日、学年集会で話をしましたが、ハインリッヒの法則ってあったよね。

ちょっとした問題行動を放置しておくと、この学年はせっかく1年生で頑張ってきたのに、2年生で崩れるということになりかねません。

少しのふざけた空気から大きな問題行動に発展するとき、もし**そこに正しい声かけがあれば、その雰囲気は消え去り**、大きな問題行動に発展せずすみませす。

**学年として(生徒も教師も!)きちんとスクラムをくんで前進していきたいね。**

具体的にいうと、たとえば終礼でのセルフノート。書いていない人がいることに班長さんは気づいているかな?書いていないことも問題だけど、**各クラスのリーダーがそこに気づいていないとしたら、それは大きな問題**だと思います。これが落ち着きのない雰囲気につながっているんちゃうかな?「気づいてるけど、言ったらって無駄やし・・・」。声かけだけで十分ですよ!あとは先生も頑張ります!

セルフノートって、無理矢理書かされるものではありません。自分の成長メモとして有効に楽しく活用してください!毎日の時間割を書かなければダメだなんて



決まりはないですよ。自分にとって大切な情報をしっかりとメモしていけばいいのです。



これ今、ベストセラーとして売れている本です。この本の中に次のようなフレーズがあります。

一体、どんな魔力なのか。

まず、メモをとると、あらゆる日常の出来事を片っ端から**アイデア**に**転換**できます。

一見価値のなさそうな、**普通**の感覚では誰もがスルーしてしまう**小さな事象**でさえ、**メモ**することで、それは**アイデア**になる。**メモの魔力は、日常をアイデアに変える**のです。

また、メモの効用は、**アイデアを生み出すことに留まりません**。

「自分とは何か」も見えてきます。つまり、**自己分析が深まる**、ということです。今の時代、**自分を知ることはすごく大切です**。

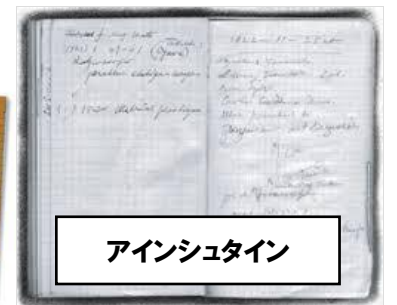
発明王エジソン、夏目漱石、アインシュタインなどもメモ魔だったらしいよ。



エジソン



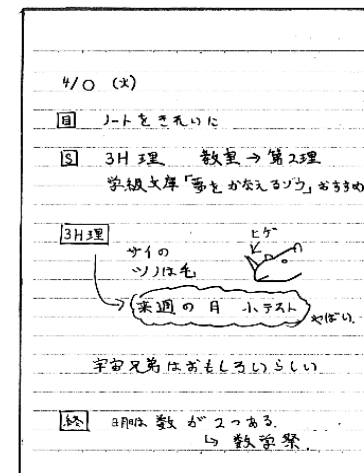
夏目漱石



アインシュタイン

セルフノート その1 (例)  
何を書くの??

- ① 目標
  - ・今日の目標
  - ・週の目標
- ② SHIR
  - ・今日の連絡
  - ・先生の話、名言
- ③ 授業
  - ・授業の連絡(提出物、小テスト、宿題)
  - ・「へー」と思ったこと
- ④ 今日の反省
- ⑤ その他(何でもOK)
- ⑥ 終礼
  - ・明日の連絡
  - ・先生の話
  - ・提出物



セルフノート その2  
ポイントは??

- ① 常に持ち歩く
- ② メモは手軽に素早く(文章で書かずキーワードを使う)
- ③ 特に重要なことは線で囲ったり色を付ける
- ④ 慣れたら、記号や矢印を使う
- ⑤ 連絡事項も大切だけど、忘れたいことを書き残すのも大切に
- ⑥ 目標を書いてステップアップ

メモは思い出を残すもの  
写真で思い出を残すように、  
字で思い出を残そう

みんなでいい学年を作ろう!

